

2018年4月23日

株式会社 電通

代表取締役社長執行役員 山本 敏博

(東証第1部 証券コード: 4324)

電通、ノルウェーのメディアエージェンシー「レッド社」の株式100%取得で合意

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：山本 敏博、資本金：746億981万円）は、海外本社「電通イージス・ネットワーク」を通じて、ノルウェーのメディアエージェンシー「Red Communication AS」（本社：オスロ市、創業者兼会長：Nils Roang、以下「レッド社」）の株式100%を取得することにつき、同社株主と合意しました。なお、本件買収の実現に向けては、ノルウェー競争庁の承認が必要になります。

レッド社は、ノルウェー市場において、メディアバイイングを含むデジタル領域全般のサービスを提供しています。パフォーマンスマーケティング、デジタルコンテンツ、データ分析、ブランドアクティベーションなどのサービスを中心に、顧客企業に対してデジタル活用による課題解決を提供することで飛躍的な成長を遂げてきました。ノルウェーではメディアエージェンシー・オブ・ザ・イヤー（経済紙 Dagens Næringsliv 発表、2016年および2017年）をはじめ、数々の賞を受賞しています。

2017年に組織再編され、現在では90名超の社員を抱えるノルウェーでは最大手の独立系デジタルエージェンシー・グループとなっています。グループ傘下の会社は以下のとおりです。

- ・ Red Media Consulting AS（ノルウェー最大の独立系メディアエージェンシー）
- ・ Retail in Media AS（流通業・CRM専門のメディアエージェンシー）
- ・ Red Performance AS（パフォーマンスマーケティング）
- ・ Plapre AS（コンテンツマーケティング、クリエイティブ）
- ・ Heia de som Vinner AS（スポンサーシップ、ブランドアクティベーション）

本件買収の目的は、当社グループのグローバルネットワーク・ブランド[※]の1つで、メディアエージェンシーである「dentsu X」（デンツウエックス、本社：東京都）の欧州市場における事業規模の拡大、サービス機能の強化、およびノルウェー拠点の設立にあります。

今後当社は、レッド社のブランド呼称を「RED dentsu X」へと改称し、競争力の高いメディアサービスを提供することで、欧州市場における成長戦略を加速させていきます。

なお、本件が当社の2018年12月期の連結業績に与える影響は軽微です。

※電通の海外事業を統括する「電通イージス・ネットワーク社」（ロンドン）は、10のグローバルネットワーク・ブランドを中心に世界140カ国・地域以上でビジネスを展開しています。10のブランドとは、Carat、Dentsu（Dentsu Brand Agencies）、dentsu X、iProspect、Isobar、mcgarrybowen、Merkle、MKTG、Posterscope、Vizeumを指します。

【レッド社の概要】

社 名：Red Communication AS（レッド社）

本社所在地：ノルウェー・オスロ市

設 立：2017年3月（組織再編後の持株会社として。前身は2004年設立）

株 主 構 成：株式取得後、電通イージス・ネットワーク 100%

収益(Revenue)：1億2,390万ノルウェー・クローネ（約17億円）（2017年12月期）

代 表 者：Nils Roang（創業者兼会長）

従 業 員 数：93名

事 業 内 容：メディアバイイングを含むデジタル領域全般のサービスを提供

以 上